

編集後記

今回、特集「早期膵癌—Stage I へのアプローチ」を組んだ。膵癌の早期診断に関する特集は、「消化器画像」、「肝胆膵画像」を通じて2度目のことであり、今回は1999年の第1巻、第6号の特集「ts1 浸潤性膵管癌の診断と治療成績」である。この9年間に膵癌早期診断は進歩したであろうか？ 前回の特集では「ts1 膵癌をめぐって」と題する座談会が組まれ、有山襄先生の司会のもとに、川原田嘉文、渡辺英伸、須田耕一、柳澤昭夫、中山吉福、山雄健次の各先生によって病理学的な発癌機序、早期診断の可能性、治療と予後について熱く語られている。有山先生はts1の中でも比較的良好な予後が期待できるのは10 mm 以下の小膵癌であると述べている。

過去9年間の膵癌診療の変化は大きい。以前、期待を寄せられていた膵液遺伝子診断の限界が明らかとなり、発癌の遺伝子病理学的概念としてPanINが導入された。診断面ではMD-CTが出現・普及し、PETやPET-CTも日常臨床で用いられるようになった。膵癌の新たなリスクファクターとしてIPMN、膵嚢胞が指摘されている。エビデンスに基づいた診療が広く受け入れられるようになり、治療成績にも客観的評価が求められ、膵癌手術も拡大指向から標準術式へ変化している。

Stage I が治療に最も近い膵癌であることに間違いはない。Stage I 症例を複数経験されている施設の診断の取り組みにどのような工夫があるのかを明らかにすることが特集の大きな目的であった。今回寄せられた論文を読んで早期膵癌の診断の難しさを改めて実感させられた。廣岡論文の言葉が印象的である。「現状で早期膵癌を診断するために最低限必要なことは、何らかの異常所見(症状、血液検査、画像所見など)を有する患者に対する見逃し例を最小限にすることである」と結論している。

2000年から9年間、「消化器画像」と「肝胆膵画像」の企画に参加させていただいた。今年の春に本誌編集担当をはなれた、土田一慧さんにはいろいろな面で支えられて続けてこられたように思う。心より感謝したい。私の「消化器画像」とのかかわりは早期膵癌の診断で始まり、同じテーマで終わる。膵癌早期診断は変わらぬ大きな挑戦である。「肝胆膵画像」がこのテーマに挑戦しつづけ、大きく貢献されることを願っている。

(下瀬川徹)

編集顧問	有山 襄	竹原 靖明	望月 福治
編集幹事	二村 雄次	神澤 輝実	工藤 正俊
	角谷 真澄	神澤 輝実	工藤 正俊
	國土 典宏	柳野 正人	真口 宏介
編集委員	山雄 健次		
	朝倉 徹	跡見 裕	猪狩 功遺
	石川 洋子	市川 智章	伊東 克能
	乾 和郎	今井 裕	植木 敏晴
	太田 哲生	岡崎 和一	梶原 建熙
	兼松 雅之	川崎 誠治	蒲田 敏文
	鬼島 宏	木下 壽文	木村 理
	熊田 卓	小井戸一光	近藤 哲
	坂元 亨宇	佐々木 洋	下瀬川 徹
	須山 正文	高安 賢一	高山 忠利
	竹内 和男	武田 和憲	田中 雅夫
	土井隆一郎	長川 達哉	信川 文誠
	長谷部 修	廣橋 伸治	本田 浩
	眞栄城兼清	前谷 容	松井 修
	村上 卓道	森 宣	森安 史典
	柳澤 昭夫	山下 康行	山野 三紀
	竜 崇正	渡辺 五朗	(五十音順)

(五十音順)

・掲載広告索引

アステラス製薬(株)	473 頁
エーザイ(株)	表 2
小野薬品工業(株)	478 頁
オリンパスメディカルシステムズ(株)	474 頁
第一三共(株)	表 4
東芝メディカルシステムズ(株)	表 3
ボストン・サイエンティフィックジャパン(株)	482 頁

肝胆膵画像(第10巻第6号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 本誌編集室直通 (03)3817-5714 (担当)藤田・中田

FAX (03)3815-7802・3815-7982

E-mail: gazo@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kantansui/

2008年11月15日発行(隔月15日発行)

定価 3,675 円(本体 3,500 円+税 5%)

2008 年年ぎめ予約購読料 21,930 円

(年間 6 冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 (株)アイワード ☎(011)241-9341(代)

広告取扱 (株)文京メディカル ☎(03)3817-8036(代)

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. ©2008, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有いたします。
- ・ **JCLS** (株)日本著作出版権管理システム委託出版物)
- ・ 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。
- ・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。